

NEWS RELEASE

報道関係各位

2014年8月18日
特定非営利活動法人がんサーネットジャパン

大腸がん疾患・治療啓発「ブルーリボンキャンペーン」 全国47都道府県に、アンバサダー(大使)84名就任。 8月30日(土)アンバサダーサミットを開催

拝啓

貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

特定非営利活動法人がんサーネットジャパン(東京都文京区、理事長:岩瀬 哲、以下、CNJ)は、メルクセローノ株式会社(本社:東京都目黒区、代表取締役:ジェームス・フェリシアーノ)を始めとする企業・団体の支援・後援のもと、大腸がん疾患・治療啓発「ブルーリボンキャンペーン」を開催し、4年目を迎えた2014年、新たに、全国47都道府県に、大腸がんの正しい情報を発信すべく100名のアンバサダー(大使)就任を目指しています。現在、全国に84名のブルーリボンキャンペーンアンバサダー(大使)が誕生しています。来る8月30日(土)には、アンバサダーが横浜に集結し、活動の目標を話し合うべく「アンバサダーサミット」を開催します。

アンバサダー(大使)とは、大腸がんの疾患・治療啓発「ブルーリボンキャンペーン」に賛同し、その旨を宣言していただける、全国各地で大腸がん診療に尽力される医師に、ブルーリボンキャンペーンのアンバサダー(大使)になっていただき、全国どこにいても、科学的根拠に基づく治療法を知り、自らの意思で治療方法を選択、そして患者が自身の責任において納得の上で治療を受けられるような医療環境の実現を目指していくものです。

アンバサダー(大使)は、大腸癌研究会 会長の杉原健一先生を始めとする6名のアンバサダーボードメンバーと、全国47都道府県から外科医1名、内科医1名ずつからなる計100名の就任を目指しています。就任後はアンバサダーとして、患者さん・ご家族が大腸がんとともに健やかに暮らせる医療環境の実現のために、患者さん・ご家族への大腸がん冊子の配布や活用、CNJのWEBサイトにおける患者さんへの応援メッセージの収録・配信、大腸がんセミナーなどの活動に参画していただいています。

3月より、全国47都道府県に100名の就任を目指し、現在84名の医師が、アンバサダー(大使)に就任いただいています。8月30日のアンバサダーサミットでは、啓発活動の目標を再度確認し、より明白な目標を持ち、大腸がん患者さん・ご家族に、正しい大腸がん情報をお届けしていきます。

敬具



Blue Ribbon Campaign Ambassador

全国47都道府県から外科医1名、内科医1名ずつの94名と、6名のアンバサダーボードメンバーで計100名の就任を目指しています。

ブルーリボンキャンペーンアンバサダー

ブルーリボンキャンペーンの趣旨に賛同するアンバサダー(大使)と共に、大腸がんの疾患啓発、科学的根拠に基づく医療の重要性の啓発に取り組みます。

[詳しくはこちら](#)

【アンバサダー(大使)84名】

No.	都道府県	施設名	所属	名前
1	東京都	東京医科歯科大学	特任教授	杉原 健一
2	東京都	東京医科歯科大学	腫瘍外科学	石黒 めぐみ
3	東京都	東京女子医科大学	第二外科・准教授	板橋 道朗
4	大阪府	大阪大学医学部附属病院	消化器外科	佐藤 太郎
5	愛知県	愛知県がんセンター中央病院	薬物療法部 部長/外来化学療法センター長	室 圭
6	東京都	* 大腸がん体験者	フロンティアコーディネーター	金 哲彦
7	北海道	北海道大学病院 腫瘍センター	腫瘍センター 診療教授	小松 嘉人
8	北海道	恵佑会札幌病院	外科 副院長・外科主任部長	久須美 貴哉
9	青森県	弘前大学大学院 医学研究科	腫瘍内科学講座 教授	佐藤 温
10	青森県	弘前大学医学部	消化器外科 准教授	村田 暁彦
11	岩手県	岩手県立中央病院	がん化学療法科 診療科長	加藤 誠之
12	宮城県	東北大学病院	胃腸外科 院内講師	大沼 忍
13	秋田県	秋田大学医学部附属病院	腫瘍内科・診療科長(教授)	柴田 浩行
14	秋田県	秋田赤十字病院消化器病センター	消化器内科 消化器病センター長 第二消化器内科部長	山野 泰穂
15	山形県	山形大学医学部	臨床腫瘍学講座(腫瘍内科)助教	福井 忠久
16	山形県	公立直腸総合病院	外科 診療部長	小澤 孝一郎
17	福島県	福島労災病院	外科 副院長	武藤 淳
18	福島県	公立藤田総合病院	消化器科 部長	坂 充
19	茨城県	筑波大学附属病院	消化器内科 教授	兵頭 一之介
20	茨城県	JAとりで総合医療センター	外科 部長	宇田川 勝
21	栃木県	栃木県立がんセンター	腫瘍内科 化学療法部 副部長	山中 康弘
22	栃木県	栃木県立がんセンター	外科・研究所長兼大腸外科部長	岡武 健二郎
23	群馬県	群馬県立がんセンター	消化器外科 部長	尾崎 仁
24	群馬県	群馬大学大学院 医学系研究科	がん治療臨床開発学	解良 恭一
25	埼玉県	埼玉県立がんセンター	消化器内科 科長兼部長	山口 研成
26	埼玉県	防衛医科大学校病院	外科 准教授	上野 秀樹
27	千葉県	国立がん研究センター東病院	外来・病棟医長	吉野 孝之
28	千葉県	帝京大学ちば総合医療センター	外科 教授	幸田 実司
29	東京都	がん研有明病院	消化器センター消化器内科化学療法担当医長 兼 化学療法医長	篠崎 英司
30	東京都	国立がん研究センター中央病院	大腸外科 科長	金光 幸秀
31	神奈川県	聖マリアンナ医科大学病院	臨床腫瘍学 教授	朴 成和
32	神奈川県	北里大学医学部	外科学 医局長 講師	佐藤 武郎
33	新潟県	新潟大学大学院医歯学総合研究科	腫瘍内科 教授	西條 康夫
34	新潟県	新潟県立がんセンター新潟病院	消化器外科部長	瀧井 康公
35	石川県	厚生連高岡病院	外科 医長	小竹 優範
36	石川県	金沢赤十字病院	副院長	西村 元一
37	福井県	福井県済生会病院	外科 主任部長	宮本 義則
38	長野県	佐久総合病院佐久医療センター	腫瘍内科 部長	冨田 佳典
39	長野県	社会医療法人財団慈泉会相澤病院	がん集学治療センター 化学療法科 統括医長	中村 将人
40	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院	光学医療診療部部長	荒木 寛司
41	岐阜県	岐阜大学医学部附属病院	消化器外科 講師	高橋 孝夫
42	静岡県	静岡県立静岡がんセンター	消化器内科 医長	山崎 健太郎
43	愛知県	名古屋大学大学院	腫瘍外科学 講師	上原 圭介
44	三重県	三重大学医学部附属病院	腫瘍内科	山下 芳樹
45	三重県	三重大学医学部附属病院	消化器小児外科 講師	井上 靖浩
46	滋賀県	滋賀医科大学	腫瘍センター	目片 英治
47	滋賀県	滋賀県立成人病センター	外科医長	川村 純一郎
48	京都府	京都大学医学部附属病院	がん薬物治療科 准教授	松本 繁巳
49	京都府	京都桂病院	消化器センター 外科 外科部長	間中 大
50	大阪府	大阪府立成人病センター	臨床腫瘍科 副部長	杉本 直俊
51	大阪府	田附興風会医学研究所北野病院	消化器センター 外科部長	金澤 旭宣
52	兵庫県	神戸市立医療センター中央市民病院	腫瘍内科 部長	辻 晃仁
53	兵庫県	関西労災病院	下部消化器外科 部長	加藤 健志
54	奈良県	近畿大学医学部奈良病院	腫瘍内科 講師	上田 眞也
55	奈良県	奈良県立医科大学	消化器・総合外科学 教授	中島 祥介
56	鳥根県	松江市立病院	消化器内科 副部長	三浦 将彦
57	鳥根県	鳥根県立中央病院	外科 医長	杉本 真一
58	岡山県	岡山労災病院	腫瘍内科 副部長	谷岡 洋亮
59	岡山県	岡山大学病院	消化管外科・助教	永坂 岳司
60	広島県	県立広島病院	臨床腫瘍科 主任部長	篠崎 勝則
61	広島県	広島記念病院	外科 診療部長 副院長	宮本 勝也
62	山口県	山口大学大学院	医学系研究科 消化器・腫瘍外科学	裕 彰一
63	山口県	関門医療センター	腫瘍内科 医長	佐々木 秀法
64	徳島県	徳島大学病院	消化器 移植科 教授	島田 光生
65	香川県	香川大学医学部附属病院	総合診療科 助教	犬飼 道雄
66	香川県	香川県立中央病院	消化器 一般外科 院長補佐	鈴木 伊智雄
67	愛媛県	四国がんセンター	消化器内科 医長	仁科 智裕
68	愛媛県	愛媛大学医学部	消化管腫瘍外科 教授	渡部 祐司
69	高知県	高知大学医学部附属病院	がん治療センター	小林 達也
70	高知県	高知医療センター	消化器内科・医長	根来 裕二
71	福岡県	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	消化管 腫瘍内科 部長	江崎 泰斗
72	福岡県	九州大学大学院	消化器 総合外科 講師	沖 英次
73	佐賀県	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	腫瘍内科 部長	嬉野 紀夫
74	佐賀県	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	消化器外科 部長	田中 聡也
75	長崎県	長崎みなとメディカルセンター市民病院	臨床腫瘍科 主任診療部長	峯 孝志
76	長崎県	長崎大学病院	移植・消化器外科 病院講師	藤田 文彦
77	熊本県	社会福祉法人恩賜財団済生会熊本病院	腫瘍・糖尿病センター 部長	境 健爾
78	熊本県	熊本大学大学院	生命科学研究所 消化器外科学・教授	馬場 秀夫
79	大分県	大分大学医学部附属病院	消化器外科 准教授	猪股 雅史
80	宮崎県	宮崎県立宮崎病院	化学療法科 医長	柴田 義宏
81	宮崎県	潤和会記念病院	外科・研究所長兼大腸外科部長副院長・外科主任部長	若村 威志
82	鹿児島県	有馬・藤島内科クリニック	院長	藤島 弘光
83	鹿児島県	鹿児島大学	消化器・乳腺甲状腺外科	盛 真一郎
84	沖縄県	琉球大学医学部附属病院	第一外科	佐村 博範

■ブルーリボンキャンペーン「アンバサダープログラム」について



大腸がん疾患啓発ブルーリボンキャンペーンを推進するにあたり、6名のアンバサダーボードメンバー 杉原 健一先生(外科)、板橋 道朗先生(外科)、室 圭先生(内科)、佐藤 太郎先生(内科)、石黒 めぐみ先生(事務局)、金 哲彦氏(大腸がん体験者)が就任。ボードメンバーの助言を得ながら、ブルーリボンキャンペーンをすすめるとともに、全国47都道府県から2名ずつ94名のアンバサダー合計100名のアンバサダーの就任を目指します。

NEWS RELEASE

■アンバサダープログラムの目的

大腸がん患者が、全国どこに住んでいても、科学的根拠に基づく治療法を知り、自らの意思で治療方法を選択し、患者が自身の責任において納得の上、その治療を受けられるような医療環境の実現を目的としています。その実現のためには、私たちががん患者支援団体だけでなく、全国各地で大腸がん診療に関わる医療者の協力が不可欠であり、ブルーリボンキャンペーンの趣旨に賛同するアンバサダー(大使)と共に、大腸がんの疾患啓発、科学的根拠に基づく医療の重要性の啓発に取り組んでいきます。

■アンバサダーの活動

- ・ブルーリボンキャンペーン制作物(冊子・スライドキット)を活用し、患者さん・ご家族へ科学的根拠に基づく情報を提供
 - ・医療環境の充実を目指し、他の医療者へブルーリボンキャンペーン制作物(冊子・スライドキット)の普及啓発
 - ・患者さんへの応援メッセージの収録、配信
 - ・ブルーリボンキャンペーンセミナーでの講師協力
 - ・WEBカンファレンス、アンバサダーサミットへの参加
 - ・メールリストを通じたメッセージ配信
- メールリストを通じたメッセージ配信では、毎月、メルマガ会員に大腸がん情報を配信し、多くの方に正しい大腸がん情報、応援メッセージなどをお届けします。メルマガ会員は随時募集中です。メルマガ会員登録希望は、こちら(brc@cancernet.jp)までご連絡ください。

【ブルーリボンキャンペーン アンバサダー宣言】

私(お名前)は、大腸がん疾患啓発ブルーリボンキャンペーンの趣旨に賛同し、アンバサダー(大使)として、

1. 科学的根拠に基づく適切な治療を、患者の意思で選択できるよう情報を提供します。
2. 患者一人ひとりに合った科学的根拠に基づく治療を提供します。
3. それらの治療を患者が納得のうえ受けられるよう環境整備に努めます。

そして、大腸がん患者が、大腸がんと共に健やかに暮らせるよう配慮し、その医療環境の実現のため行動することを宣言します。

■アンバサダーサミット

- ・8月30日(土)横浜にアンバサダーが集い、啓発活動の目標を再確認し、活動を前進させていきます。総合司会は、フリーアナウンサーの中井 美穂さん。アンバサダーの室 圭先生(愛知県)、西村 元一先生(石川県)による日頃の活動紹介や、口腔がん治療医であり大腸がん体験者の山本 悦秀さんから、医療者と患者、両者の立場から見える大腸がん治療環境についてお話をいただきます。啓発活動の目標を再度確認し、より目標を明白にし、大腸がん患者さん・ご家族に、正しい大腸がん情報をお届けしていきます。

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパンについて



1991年二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布した事に始まります。その後、各種がん患者向け書籍の出版、NCI キャンサーファックスの翻訳提供(現在終了)、NCI PDQ の翻訳 Web 公開(現在更新終了)、電話・手紙・メール・ファックスでの「セカンドオピニオンコール」等のサービスを提供してきました。2002年には、東京都よりNPO 法人格を取得し、同年、キャンサーネットジャパンホームページが日経インターネットアワードを受賞しました。2007年1月からは組織を一新し、専用事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業、市民へのがん啓発活動を行なっています。詳細はホームページをご覧ください。 <http://www.cancernet.jp/>

【本件に関する問い合わせ先】

特定非営利活動法人キャンサーネットジャパン

TEL:03-5840-6072 FAX:03-5840-6073 E-mail: info@cancernet.jp 担当:濱島